



ひと ひと  
女と男の情報誌  
**きらきら**

編集、発行

平成28年4月発行  
きらきら大洗ネットワーク研究会  
大洗町生涯学習課社会教育係  
Tel. 029-267-0230  
Fax. 029-267-1051

観光ボランティア大洗  
ほのぼの



ワンコイングルメツアー



大洗磯前神社案内

平成27年度男女共同参画週間キャッチフレーズ最優秀作品  
**地域力×女性力＝無限大の未来**

(千葉県 坂本 直哉さんの作品)



男女共同参画社会とは

豊かな地域社会を創るため、家庭、地域、職場など社会のあらゆる分野に男女が平等な立場で主体的に参画し、支え合い、責任や喜びを分かち合いながら様々な問題解決に当たる社会のことをいいます。

## キラキラと 輝く仲間

「観光ボランティアの活動について」  
観光ボランティア大洗 ほのぼの

副会長 田山 士

わたし達は、平成16年に発足して、11年目を迎えました。現在会員は13名です。大洗町の歴史、文化、名所旧跡などの案内紹介をしながら、町の観光行政に協力することや、会員の親睦を図りながら観光に関する研修を行うことを目的にしています。

毎週土、日と祝日に、大洗磯前神社の境内で受付けています。高速度道路の開通により関東地方、特に群馬県や栃木県から訪れる観光バスや家族連れのお客様が増えたように思われます。案内をしていると、神社の創建や由緒、本殿や神磯鳥居等を見て、感動したり、喜んだり、最後に「楽しかったよ」と言われる事も多く、その事が励みになっています。

次に、ワンコインちょっぴりグルメの体験ツアーの案内です。曲松商店街から永町商店街までの各店舗を案内し、その中からお客様

の希望により5店舗を選んで頂き、1店舗100円5店舗合計500円で、食べ歩きや体験をするツアーです。昔なつかしい、みつだんごやかめるめ焼き、お酒の好きな方には大吟醸酒、心を落ち着かせる写経など、店のみなさんと会話を楽しみながらの2時間コースです。

「街の文化や伝統をアニメ文化と融合させて発信しているのが素晴らしい」「商店街の皆さまがあなたかく迎えてくださっている」などのお礼の手紙も届いています。

大洗町には、毎年500万人の観光客が訪れています。さらに3年後に茨城国体、4年後には東京五輪が開催されますが、ますます多くのお客様が訪れることでしょう。

人を喜ばせるのが好きな方、歴史の勉強が好きな方、ただ今会員の募集しておりますので、どうぞ、一緒におもてなしを試みませんか。大勢のみなさまの加入をお待ちしております。



## 連盟のつどいに参加して

今年が30周年記念になる茨城県女性団体連盟の「連盟のつどい」が2月13日開催され、行方市のレイクエコーには例年より多くの参加者がありました。

基調講演「国際貢献と女性」に水戸市出身の国連本部経済社会局に勤務されている大崎（富田）敬子さんをニューヨークからお迎えし、講演の中で、

・ 国連で言語、宗教、文化の違う人々に接し仕事をする中で感じるのは、女性の視点や積極的な参加が様々な分野で期待されていること

・ 日本人女性には「国際社会の一員」としての自覚を持ち、異文化の理解に努め、柔軟に国際的課題への取り組みが求められる時代が来ていること

・ 日本にいても身近にいる国籍の違う人々と共に生きる社会を作っていくことは国際貢献のあり方の一つであり、そこには女性が積極的に参画、貢献のできる機会がたくさんあると話されました。

午後の部のパネルディスカッション

ンでは大崎さんをコーディネーターに、衆議院議員の永岡さん、山口副知事、前常総市長、被災者代表の4人の女性が常総市の水害の体験、被害、対策について意見を述べられ、女性の視点の重要さと必要性を改めて感じました。

## おみたま男女共同参画推進 フォーラムに参加して

平成28年1月23日小美玉市で開催されたおみたま男女共同参画推進フォーラムに参加しました。

男女共同参画かたりすとの奥山和弘氏の「しか」から「でも」へと題した基調講演の後、パネルディスカッション「誰もが輝くためには」がありました。NPO法人子連れスタイル推進協会代表理事の光畑由佳氏をコーディネーターに、レンコン農家のお嫁さん、生協職員、企業人事部の3名がパネリストとして登壇し意見を述べました。輝きをもって働く女性、育休を取り子育てする男性、そして、それをサポートする企業と、それぞれの立場から活発な意見交換がされました。

# ハーモニーフライト 2015に参加して



明石 麻衣子

ハーモニーフライトのメンバー14名が2015年11月15日から20日までの6日間にわたりフィンランドを訪れ、男女共同参画に関する取り組みや制度を中心に現地調査、研修を実施しました。

今回のフライトではこれまでの慣習と異なり、事前研修を重ねるなかで、メンバー自身の協議によって渡航する国をはじめ、視察の目的や課題をもとに訪問する組織や場所の選定をして実施に至りました。

先進的な教育を行っている中学校や、芸術家の組合による地域をブランド化した村運営、昨今日本でも注



地域ブランドの作品 ガラス容器



ハーモニーフライトの仲間

目の子育て支援システム「ネウボラ」、企業連盟や女性国家評議会での講義やインタビュウなどを通しての男女共同参画とワークライフバランスの現状など、テーマごとに様々な対象を訪問し、理解を深めました。そのなかで、茨城やそれぞれの地域における問題解決につながる視点を育成するために必要なことをフィンランドのそれぞれの現場から学ぶことを精力的に行いました。

実際にフィンランドに訪問したことで収穫だと思ったのは生の声と人々の肌感覚が感じられたこと。街のなかでは、大きなベビーカーを押す母親の姿が多く見られ、社会において彼らを大切にしていることの表

れだと感じました。

一方で、日本に比べると北欧に学べると一口に単純化された意見が散見されたりしますが、働いている女性が多いとはいえず、その殆どが公務員と医療（保健）関係者で占められ、地位や賃金は男性と比べ格差があり改善が必要です。また離婚やDVの問題も大きく課題となっています。

今回のフライトでは様々な背景をもつ、年代も異なる人たちがメンバーとなっていて、大いに刺激になりました。渡航前の研修を重ねている過程から様々な考え方や姿勢を学んだと感じています。これらこのことを自ら実践していく様々なことなかで生きると思っています。

## 輝け！ 女性活躍推進フォーラム 2015に参加して

県は女性の視点を生かした地域・経済の活性化につながる活動に助成しています。今年度は82団体が応募し58団体が助成を受け、わが町からも大洗小《お母さんパワー本読隊》が選ばれました。

茨城大学社会連携センター准教授長谷川幸介氏が基調講演で「男女共同参画社会は人が幸せになる

ための幸せ装置」と話され、「日立女性フォーラム」「みらいバリュー」「わくわくネット」の3団体の活動状況、成果発表、意見交換が行われました。「男女を問わず」「世代を越えた活躍に明るい未来を感じさせてくれました。

### 地元企業を訪ねて

昨年11月11日、きらきら大洗ネットワーク研究会で榊千代田テクノル大貫台事業所を見学してきました。

この事業所はエックス線などの放射線量測定器（ガラスバッチ等）の製造・測定後のデータ管理や研究開発をしている事業所です。



## 大洗町防犯連絡員協議会の活動



大洗町防犯連絡員協議会会長 小谷 隆 亮

私達、大洗町防犯連絡員協議会は、犯罪のない明るい社会作りを理想とし、地域住民の防犯思想の高揚と犯罪の未然防止に貢献することを目的に会員数54名で活動しています。

平成9年7月の設立以来、子ども達が安全に安心して、生活が送れるようにと願い、年間を通じ自主防犯パトロールを実践し、児童生徒の登下校時の安全確保のための活動を行っています。通学路の危険箇所を中心とした立哨活動をはじめとして、道路横断時の安全誘導、青パトでの自主防犯パトロール、さらには、あいさつ・声かけなどを積極的に実施して、地域住民や保護者の方々と協力しながら地域の安全・安心の確保に努めております。

また、駅前などでの防犯キャンペーン、花火大会に伴う防犯パトロール、海水浴期間中のサンビーチ駐車場内における青パトでの見回り、防犯やぐらからの見張りをを行い、車上荒らし等の犯罪の未然防止にも力を入れております。

これらの活動を通し、住民の皆様自身が防犯意識を高め、日頃から注意するのはもちろんのこと、自分の家族が犯罪に巻き込まれないよう、防犯思想を強く持つてもらうことを常に呼び掛け、伝えていくことが大切だと考えています。

これからも、大洗町の皆様一人ひとりの防犯思想の高揚によって、町から交通事故、犯罪がなくなるよう、引き続き防犯連絡員協議会としての活動に取り組んでいきたいと思っておりますので皆様のご協力をよろしくお願いたします。

(一)報告

大洗町防犯連絡員協議会は、地域や子ども達の安全を守る永きにわたる活動が認められ、去る27年12月3日に文部科学大臣賞を受賞いたしました。

※青パト：青色防犯パトロール車



## 男女共同参画ミニ知識 ②



### ダイバーシティとは…

最近、企業や政府でよく使われている言葉です。翻訳すると「多様性」という意味です。

性別、年齢、学歴、社歴、国籍、宗教、出身地…その他いろいろな違いによる多様性を受け入れ、いろいろな人がいる組織、社会にするためのキーワードに使われています。今、日本では女性活用の推進において「ダイバーシティ」の言葉が使われることが多いのですが、言葉の持つ意味は、単に女性の活

用を推進するだけではありません。男女一人ひとりの働き方だけでなく、物事を多様な視点から捉えることがこれからの社会全体の成長を考えるとき大切なことであるといわれています。「ダイバーシティ」は人権を考えるときにも使われます。お互いの立場や違う価値観を認め合い、自由に意見を述べることのできる社会をつくる上で必要なことです。

あなたはそう考えるのね。  
私はこう考えるのだけれど…



## ～きらきら大洗ネットワーク研究会員募集～

私たち“きらきら”のメンバーは年齢層も幅広く、隔週水曜日午前中を活動日とし、豊かで生き生きとした活力あるまちづくりと、女(ひと)と男(ひと)が共に幸せになるための地域活動をボランティアでしています。是非一度、大洗活動支援センターへお越しください。

みなさまのご参加をおまちしております。

お問い合わせ ☎ 267-0230 生涯学習課 社会教育係

きらきら大洗ネットワーク研究会の「きらきら」は、海・女・男のダイナミックなかがやきに夢を託して名付けました。